



# 議会だより



未来への希望をこめて植樹する町植樹祭の参加者

## 主な内容

**特集** 国保税を論議する ..... 2

### 町政のここが聞きたい

一般質問（佐藤・安部・中村・丹羽・瀧川の5議員） ..... 6~12

議会のうごき（議会改革・活性化への取り組み） ..... 14

### シリーズ

●協働のまちづくりへ「野付漁協女性部」 ..... 18

## 国保税5年連続引き上げ 賛成多数で可決

国民健康保険税引き上げの条例一部改正と国民健康保険特別会計の補正予算が審議され、討論の結果、ともに賛成多数で可決されました。国保税は今年度引き上げすると5年連続となります。条例改正と補正予算の討論内容を掲載します。

### 健全な財政運営を図りたい

#### 条例一部改正の議案説明（町当局から）

国民健康保険特別会計の健全な財政運営のため、平成二十二年度の地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、当町の国民健康保険税条例の一部を改正します。（3ページ参照）  
基礎課税限度額・後期高齢者支援金等課税限度額を引き上げることにより約二千三百八十万円、また、所得割・均等割の引き上げにより約二千百万円の増収を見込みます。

#### 条例の改正に対する討論

##### 反対意見

（瀧川榮子議員）

平成二十一年度は、

一般会計から国保財政健全化のために繰り入れをし、本年度は税率改定することで少し黒



「安心して医療が受けられるように」は住民の切実な願い

字になります。

五年連続の値上げは、国保加入者が全世帯の四八%にもなる別海町住民の大きな負担になります。

平成十八年から大幅に増えた共同事業拠出金は、共同事業交付金をいつも上回り、国保会計に大きな負担をかけています。

また、これまでの国の負担減が今の国保財

政悪化の大本となつています。共同事業の改善を図ること、ならびに国の負担割合を元に戻すべきです。

##### 賛成意見

（松原政勝議員）

国民健康保険の財政運営の健全化は、被保険者の保険給付を将来的にわたって円滑に保障していくうえで、最

も重要で、今回の改正は不足する財源確保のため、課税限度額、所得割と均等割をそれぞれ引き上げるものです。

国民健康保険特別会計の独立性、そして、保険税が制度を支える重要な財源であることを考慮すると、改正はやむを得ません。

#### 補正予算に対する討論

##### 反対意見

（中村忠士議員）

国保に関して町が一定の努力をしていることを評価しますが、これまでの連続国保税引き上げで、町民・加入者は苦しんでいます。町民の福祉向上のため、知恵をしぼり、努力を尽くすのが自治体の役割です。国庫負担割合を五割

に戻すことが、根本的解決の道ですが、これ以上の町民負担をさせないため、町は一層の工夫と努力をすべきです。

##### 賛成意見

（戸田博義議員）

国保会計は、平成十七年度に赤字決算が生じて以来、資金の借入れ、さらには一般会

計からの法定外繰り入れなどで、極力住民負担の伴わない方策を取り入れて運営してきました。

本来、国民健康保険の財源は、国庫負担金と保険基盤安定制度など、法律に基づく地方負担を除く保険税でこれをまかなうのが原則とされています。

今後における国保財政の健全化に向けた補正内容です。

# 6月 定例議会

6月21日～24日開催

6月定例議会は、6月21日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

◆国民健康保険税条例  
 今後の国民健康保険特別会計の健全な財政運営を図るため、課税限度額等について次のように改めました。  
 ① 地方税法等の一部改正に伴い、保険税の課税限度額を現行四十七

## 条例を一部 改めました

万円から五十万円に、後期高齢者支援金等の課税限度額を現行十二万円から十三万円に引き上げる。  
 ② 所得割額の現行税率百分の四・六を百分の四・九に、均等割額を被保険者一人について現行二万八千円を三万円に引き上げる。



補正予算で福祉牛乳事業費の一部に中山間交付金が投入されることに

## 平成22年度 補正予算

補正額	予算総額
<b>一般会計（1回目の補正）</b>	
9億3,100万円 増	150億7,600万円
<b>国民健康保険特別会計（1回目の補正）</b>	
40万円 増	23億6,740万円
<b>介護サービス事業特別会計（1回目の補正）</b>	
880万円 増	8億9,700万円
<b>下水道事業特別会計（1回目の補正）</b>	
650万円 増	5億4,190万円
<b>水道事業会計（1回目の補正）</b>	
490万円 増	8億7,326万円

### 一般会計の主な補正（歳出）

- 民間介護施設開設準備経費補助  
 （居宅介護支援事業所・グループホーム開設） 1,620万円増額
- 介護サービス事業特別会計繰出金 638万円増額
- 中山間地域等直接払交付金 9億4,500万円増額
- 中山間地域等直接払交付金事業への一部振り替え分 5,005万円減額

### 国民健康保険特別会計の主な補正（歳入）

- 一般被保険者国民健康保険税 7,947万円増額
- 歳入欠かん補てん収入 8,260万円減額

### 介護サービス事業特別会計の主な補正（歳出）

- 臨時職員の賃金等 382万円増額
- 特別養護老人ホームの計画策定に伴う委託料 498万円増額

### 下水道事業特別会計の主な補正（歳出）

- 下水道終末処理場施設費（消耗品・委託料） 300万円増額
- 西春別地区排水管路新設工事 350万円増額

### 水道事業会計の主な補正（支出）

- 臨時職員の賃金等 205万円増額
- 配水管増設工事 300万円増額

各会計補正予算が審議され、国保会計を除いて全会一致で可決されました。

◆集落排水施設設置条  
例

西春別清川町の一部  
地域、西春別地域セン  
ターみらい館、西春別  
中学校を西春別農業集  
落排水施設の区域内に  
編入しました。

◆職員の勤務時間及び  
休暇等に関する条例  
◆職員の育児休業等に  
関する条例

◆別海町職員の給与に  
関する条例

少子化対策が求めら  
れる中、公務において  
も長期間にわたる育児  
と仕事の両立が可能に  
なるよう、育児のため  
の短時間勤務制度を導  
入するために、地方公  
務員の育児休業に関す  
る法律が改正されたこ  
とに伴い、関連する条  
例を改めました。

工事請負契約  
の締結を承認  
しました

◆浜春別尾岱沼線戸春  
別橋架換工事（上部  
工）

簡易公募型指名競争  
入札により、寺井建設  
（株）が落札しました。契  
約金額は六千五百二十



上部構造の建設工事が始まった戸春別橋

五万七千五百円で、工  
期は平成二十二年十一  
月三十日までです。

◆町道上春別四五線交  
付金工事（改良）

簡易公募型指名競争  
入札により、高玉建設  
工業（株）が落札しました。  
契約金額は六千五百十  
三万円で、工期は平成  
二十二年十一月十日ま

です。

◆町道泉川北四線交付  
金工事（改良）

簡易公募型指名競争  
入札により、寺井建設

（株）が落札しました。契  
約金額は五千六百七十  
万円で、工期は平成二  
十二年十一月十日まで  
です。

●●● 議会のまめ知識 ●●●

常任委員会と所管事務調査

一定の部門の事務に関する調査  
や議案、請願・陳情等の審査を行  
うため、議会に常設される機関が  
常任委員会です。

常任委員会は、本会議審議の予  
備的審査機関で、議会から付託さ  
れた事件を審査して、その結果を  
議会に報告することを主な任務と  
しています。

また、当該委員会に属する事務  
について、独自の判断により自主  
的に調査することができます。

これが所管事務調査で、議案の  
立案や事務の改善策を究明するた  
めのほか、執行機関への監視のた  
めに活用することもできます。

**町道の路線認定および廃止をしました**

一路線（一八一・二八m）を認定し、一路線（九〇・九八m）を廃止しました。

これで、町道の総延長は、一、一九八・六七kmとなりました。

**国・道に意見書を提出しました**

**◆ワクチン接種に関する意見書**

提出者 瀧川 榮子 議員  
他五人

ワクチン接種により、細菌性髄膜炎および子宮頸がんの予防が可能であることから、現状では多額となる接種費用に対する北海道の補助を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

**◆北海道農業の持続的な発展に資する戸別所得補償制度に関する意見書**

提出者 西原 浩 議員  
他五人

国の「戸別所得補償制度に関するモデル対策」の詳細が明らかになっっていないことから、地域の実情および経営実態を踏まえた検討をし、本制度が農業者にとって意欲と誇りを持つて農業に従事することができ、経営努力が報われ、将来展望が開ける制度となるよう求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

**◆農山漁村の多面的機能維持する施策の推進を求める意見書**

提出者 山田 信 議員  
他五人

農山漁村の多面的機能が地域の高齢化等により失われつつあるこ

とから、それを維持・向上させる施策の推進を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

**◆若者の雇用創出と新卒者支援の充実を求める意見書**

提出者 中村 忠士 議員  
他五人

雇用環境が引き続き厳しい状況にあることから、若者の雇用に対する公的支援の在り方を抜本的に見直し、雇用創出と新卒者支援の充実を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

**◆持続的な農業・水産政策の確立を求める意見書**

提出者 福原 春夫 議員  
他五人

農業・水産業が抱える課題を解決し、将来にわたり安全・安心な農水産物を提供し、国

民の食を支えていくために必要な政策を拡充するよう求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

**◆学校耐震化促進を求める意見書**

提出者 文教厚生常任委員会  
安部 政博 委員長

道内の公立小中学校の耐震化率は五四・四％（二十年度末）と極めて低い水準にあることから、迅速な解決が図られるよう積極的な取り組みを求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

**◆北海道農業の発展に必要な生産基盤整備等に関する意見書**

提出者 産業常任委員会  
戸田 憲悦 委員長

国においては、農業生産基盤整備事業の予算額を大幅に削減したが、今後とも食料生産基地としての責任を果たすため、農業・農村地域に対する前向きな投資が継続的に必要であることから、実効ある施策の実現を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。



22年4月1日現在の学校耐震化率は全国73.3%・全道60.6%・当町79.7%（耐震工事が進む中西別小体育館）

# 町政の ここが聞きたい

6月定例議会では第2日目(6月22日)に5議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

## ■佐藤初雄 議員

- 1 口蹄疫発生の現状と今後の対策は……………6

## ■安部政博 議員

- 1 宮崎県に支援の輪を……………7

## ■中村忠士 議員

- 1 海兵隊訓練で火災が頻発、嚴重な抗議をすべき…8
- 2 海兵隊のヘリ部隊訓練移転に近隣自治体と連携し反対を…9
- 3 道教委の情報提供制度は「密告制度」ではないか…9

## ■丹羽勝夫 議員

- 1 酪農工場の民営化のメリットは……………10
- 2 別海町機構図の配布をなぜやめたのですか…10
- 3 観光交流担当部署に専門職の配置を……………11

## ■瀧川榮子 議員

- 1 子宮頸がん予防ワクチン接種の費用助成を……12
- 2 人材育成に助成をして高校生の雇用確保を……12

## 佐藤議員 口蹄疫発生の現状と 今後の対策は

町長 侵入防止に  
最大限努力しています

佐藤初雄議員

敏速な対応・対策が必要で、状況の進展では壊滅的打撃の事態になります。当町の対応・対策の取り組み状況は、対策本部未設

置の自治体があります。根釧の広域連携体制を強化すべきです。

飯島産業振興部長

当町としては、四月二十日付けで関係農家、関係機関へ防疫体制の周知徹底の呼びかけを



口蹄疫の侵入は何としても阻止しなければならない  
(消石灰をまき、防疫に努める牧場)

し、四月三十日までに初期防疫対策を整えました。そして、五月三十一日に別海町口蹄疫侵入防止対策本部を設置しました。

また、根室振興局内において、口蹄疫対策の机上演習を実施し、管内の関係者と情報交換をし、連携体制の強化に努めています。

質問

シカなどの野生動物に対する対応は。

飯島産業振興部長

今のところ、これといった対策方法がないのが実情です。

質問

埋め立て用地の確保の検討状況は。

飯島産業振興部長

できる限り、農場敷地内での埋却処理をすべきと考えています。埋め立てするのに不適地などがあるか

# 宮崎県に支援の輪を

安部議員

安部政博議員

## 町長 人ごとではなく 支援を検討します

整え、北海道で口蹄疫が発生した場合には即「口蹄疫侵入防止対策本部」を設置する考えでした。

しかし、現地では、埋却場所がなく、殺処分から埋めるまで日数がかかったことが爆発的に感染した原因であることや、法の不備を補完する特別措置法が五月二十八日に成立し、

やっと埋却が促進されるなど時間がかかりました。

これらと歩調を合わせるように北海道では、五月二十一日、根室振興局が二十四日に侵入防止対策本部を設置し、その通知を受け、当町は三十一日に設置しました。これらの経過から、決して遅かったとは思っていません。

質問

町民は、町がどのように対応しているのか心配しています。侵入防止を喚起する垂れ幕、

調査しています。

質問

消毒車を増加し敏速な対応が必要です。

飯島産業振興部長

現在、町内に消毒車が六台あります。家畜保健衛生所と相談し、

どの程度の増車が必要か検討していきます。

質問

国、道への要請の対応をどう考えていますか。

水沼町長

侵入防止に現在でき

る最大限の努力をしているところですが、

中央要請において、防疫関連対策として政策提案をしています。

今後においても、適切な機会をとらえて、国・道へ要請する考えです。

ることが大切です。

水沼町長

対策をしっかりとやっていくと同時に、町民に正しい理解をしていただき、風評被害の防止もやらなければなりません。

山口教育長

町内の小・中学校で取り組む予定はありません。

各学校で自発的に取り組む場合は積極的に支援します。

水沼町長

宮崎の農家のことは人ごととは思えません。本当に心の痛む状況です。

質問

道内への感染拡大の可能性がある以上、神経質過ぎるとは言えません。やるべきことをしっかりとやる、そして、それが農家や町民に解

質問

宮崎の口蹄疫は、同じ畜産農家として、人ごとではありません。

別海高校では学校祭で義援金を募ると聞いています。町内の小・中学校、PTAで取り組む動きがありますか。また、町としても義

同じ畜産業を営む地域として支援を検討します。

**水沼町長**  
万が一の北海道への侵入に備え、指導関係機関などの連絡・初期防疫体制を四月中に

五月三十一日に「別海町口蹄疫侵入防止対策本部」を設置しました。  
酪農主産地の当町として対応が遅かったとは思いませんか。



各イベントの中でも口蹄疫予防がアピールされた(えびまつり会場で)

## 海兵隊訓練で火災が頻発 嚴重な抗議をすべき

中村議員

中村忠士議員

海兵隊による説明会（ブリーフィング）は時間がなく、訓練公開では火災を起こした着弾地を視察することができないなど、極めて不十分でした。物資・隊員の移動経路や時間などについても一切秘密のままでした。

町長 極めて遺憾な事態と考えています

水沼町長

周辺自治体への対応に問題を残す結果となつたと考えています。詳細な訓練情報などを早期に通知するよう引き続き強く要請していきます。

質問

野火が頻発しましたが、原因はわかりません。また、鎮火から四十分後に射撃を再開し



激しい轟音と振動を伴う射撃がくりかえされた

ています。再発防止策をとらずに再開しているとしたら思えません。

米軍は、「訓練に火災はつきもの」という感覚でやっています。嚴重に抗議すべきです。

水沼町長

幸いにも演習場の外への類焼がなかったですが、万が一のことも予想されます。道や関係四町で何度も要請し

ましたが、次々と発生しました。極めて遺憾なことです。消火後わずかな時間で再開するということは、再発防止策が十分取られていないという証明でもあります。

米軍がもし「つきものだ」と言うのであれば、それは我々とは見解がかなり違うということです。

質問

野火の発生・鎮火、実弾訓練の終了などの連絡は、町からありませんでした。必要な情報を整理し、速やかに知らせる体制を整備する必要があると思います。

水沼町長

できる限り情報は知らせていくことが大事です。改めて検討していきます。

質問

口蹄疫流行の状況下

で、海兵隊員の釧路市、網走方面への慰労外出が行われました。防衛局に聞いたところ、「当局は海兵隊員における防疫体制については承知していない」という正式回答がありました。

世界を回り、国内法に規制されない海兵隊員と口蹄疫の接点はないと言ひ切れませんか。



異常なほど野火が頻発した海兵隊訓練

ていかなければなりません。今後の課題とさせていただきます。

質問

今回も白燐弾の射撃訓練が行われました。国際的に非難を浴びている焼夷弾としての使用です。中止を要請すべきです。

水沼町長

通常の兵器であり、中止を求めることは今考えていません。

水沼町長

侵入防止対策は考え





普天間基地に配置されている大型ヘリコプター

**中村議員**  
**海兵隊のヘリ部隊訓練  
移転に近隣自治体と  
連携し反対を**

**町長** 基幹産業に重大な影響を  
もたらすことを念頭に置いて  
対応します

**中村忠士議員**

普天間基地問題にか  
かり、訓練の一部を  
移転するという問題が  
出ています。普天間基  
地のヘリコプター部隊  
の実態は、町として把  
握していますか。

**水沼町長**

大型ヘリ二十四機、  
中型ヘリ二十五機、軽攻  
撃ヘリ十機、指揮連絡  
ヘリ七機、このほか、空  
中給油機十二機、作戦  
支援機三機の七十一機  
の航空機が常駐し、隊  
員は約三百三十人です。

**質問**

これらのヘリコプター  
などによる訓練が、早  
朝から夜の十一時ごろ  
まで行われ、飛行回数  
は一九九一年には年間  
三万三千九百六十二回  
一日にすると約九十三  
回。現在では飛行回数  
もさらに増えていると  
確認しています。

大型の輸送ヘリ、高  
速で飛ぶ攻撃型ヘリ、  
ともに大きな爆音をた  
てます。この訓練が仮  
に矢臼別に移転される  
ということになったら、  
大変な問題です。

特に、菅政権  
になって「沖縄  
の負担軽減」を  
盛んに言ってい  
ます。矢臼別が  
移転の候補地に  
あがることは十  
分考えられます。  
当町の基幹産  
業を守り地域の  
安定を図る上で、  
一層積極的なア  
クションをとっ

ていただきたいと思  
いますが、いかがですか。

しながら対応してい  
きます。

**水沼町長**  
道と周辺四町で連携

訓練の移転先として  
矢臼別が指定されるこ  
とになれば、基幹産業

**中村議員**  
**道教委の情報提供制度は  
「密告制度」ではないか**

**教育長**

**信頼基盤の再構築が目的です**

**中村忠士議員**

道教委は、学校及び  
教職員の法令違反に関  
する道民からの情報提  
供についての要綱を策  
定し、実施しました。

として摘発される可能  
性があります。教育の命  
とも言える自主性・自  
発性を押し殺し、特定  
の教育内容押し付け  
るための手段となりう  
る制度です。

要綱では、「法令違反  
となるおそれのある行  
為」を含め、道民から  
情報提供をしてもらう  
というもので、曖昧で  
無制限な情報を誘うも  
のになっていきます。  
学校現場や教職員の  
創意工夫をも、「指導要  
領に基づかない指導」

**山口教育長**  
要綱では、情報提供  
の対象範囲として、教  
職員の政治的活動など  
の法令違反や学習指導  
要領違反に限定されて  
います。  
この制度は、地域の  
方々との信頼関係、協

働関係を基盤として、  
自立的な学校運営を行  
うための制度です。

**質問**

PTAや評議員制度  
があります。今大事な  
のは、その機能を充実  
させ、しっかりとコミュ  
ニケーションをとりな  
がら、理解と信頼感を  
高めていくことです。  
情報提供制度は「密  
告制度」です。疑心暗  
鬼を生み出し、学校教  
育を殺伐としたものに  
していきません。

**山口教育長**  
信頼関係の前提は法  
令遵守との考えに立つ  
ての制度で、密告制度  
ではありません。  
信頼基盤の再構築が  
目的です。

## 酪農工場の 民営化のメリットは

丹羽議員

産業振興部長 自由な経営としっかりとした  
資金繰りができます

現在、学乳、福祉牛乳、中山間事業の助成などの好条件で黒字経営している酪農工場を、あえて民営化を進めるとしたコンサルタントの報告書の内容をお知らせ願います。

飯島産業振興部長

自主独立企業として



完全民営化の方向が打ち出された酪農工場

の再構築をうたっています。施設の改善、投資、業務拡大、体験型の施設などの管理体制を進めます。

質問

調査報告書では、民営化を進めるにあたって、町からの持ち出しが必然的となる見解ですが、町として試算はありますか。

飯島産業振興部長

現時点では試算はしていませんが、株主の中で資金繰りの関係、増資に向けた考え方を論議し、平成二十二年度中に将来を見据えた計画などを立て、株主に示しながら検討します。

質問

興社を民営化するメリットは。

飯島産業振興部長

第三セクター方式より、完全な独立採算制の方が、興社の自由な経営、資金繰りがしつかりできるものと思います。

質問

民営化を受ける側となる民間団体の理解を得られると思いますか。

水沼町長

施設の再投資、機械

類の更新を図っていか

なければならぬ状況と販売戦略を含め、今の時代に乗り遅れない体制が必要となつていきます。自己資本、自己資金を持ちながら、自立の道を今進めています。

質問

担当者が三月末で辞められていますが、ハサップ取得の進行状況は。

## 別海町機構図の配布を なぜやめたのですか

丹羽議員

総務部長 行革で見直しました

丹羽勝夫議員

町職員の全体の機構図を町民へ配布しなくなった理由をおたずねします。

小守総務部長

行革推進の中で物件費の見直しを進め、印刷代に二十万三千円かかっていった機構図を廃止しました。また職員のプライバシー

飯島産業振興部長

最終的に、商品の保存品質確保データの検証が整わないということで、年度内の承認申請には至っていません。平成二十二年度中に研修牧場と共同して、原料乳品質の安全確保に取り組みます。それが確保できた段階で、承認を目指していきます。

質問

町内会長会議の時、町内会長だけでもいいだけはないかという質問に、配布しますという答弁でした。

シーにも配慮しました。広報に折り込んで、職名、名前を入れて知らせることに對して、町民がどこまで求めているか検討する必要があります。

丹羽議員  
**観光交流担当部署に  
専門職の配置を**

町長 今後検討していきます

丹羽勝夫議員

昨年の管内の観光客の入り込み数が発表さ

れましたが、当町は、年間二十五万九千二百人と最下位でした。当町の観光産業の現



「道の駅」に登録申請を予定している北方展望塔

状、課題などをどの様にとらえていますか。観光交流担当部署に専門職の配置と観光客への窓口の一元化の必要性を感じますが、いかがでしょうか。

水沼町長

昨年はイベントの集客数は増加でしたが、観光客の入り込み数は前年比一・四％減となっております。新型インフルエンザの流行、長引く景気低迷が要因と思われま

す。専門的な能力のある人材の獲得は大事であることは十分認識していますので、今後検討してまいります。観光に対する窓口の一元化は、商工観光課で成り立っていると思

います。

質問

「道の駅」のとりえ方、委託管理費などについては、どう考えていますか。

小守総務部長

あくまでも非開示ではありません。積極的に公開しないということとで考えています。工作上、業務上必要であれば、お渡しします。

質問

必要に応じて見せま

水沼町長

何かあったときにどこに連絡すればいいのか、それはいろいろと分らないこともあると思いますので、組織機構のお知らせは大事な

飯島産業振興部長

尾岱沼にある北方展望塔、それと新しくできた公衆トイレ、これを一体的に活用した最低限のサービス提供ができる施設として「道の駅」に登録申請して

ことだと思っています。町民にとってほんとうに必要な、職員の間意も含めて、できる限

り町民の皆さんに機構図を配布できるように検討してまいります。



親しみが持てわかりやすい役場であってほしい

いきたいと考えています。

小守総務部長

現在施設の管理費として年間百五十万円程度かかっています。「道の駅」として利用

する場合、二十四時間オープンに伴なう機械警備などに新たに三十五万円ほどかかるものと予想しています。

**議員 瀧川**  
**子宮頸がん予防ワクチン  
接種の費用助成を**

福祉部長

**負担軽減の検討をします**

議員 瀧川

子宮頸がんの予防ワクチンの必要性についてお聞きします。

Vは任意の予防接種に分類され、助成は行っていません。

国・道の補助制度の動向を見きわめ負担軽減の検討をします。

水沼町長

日本でも昨年、子宮頸がんワクチンが承認され、予防の選択肢が増え、喜ばしいと認識しています。

議員 水沼

予防接種は適齢期を逃すと予防できません。他の自治体では、国の結論を待たずに順次助成を始めています。

議員 水沼

二十代の子宮頸がんは、HPV(ウイルス)感染が九割を占めます。ワクチン接種費用は高額です。費用負担の助成が必要と考えます。

議員 田村

助成のある定期の予防接種とちがい、HP

議員 田村

特定年齢に検診の無料クーポン券を配付しています。

教育関係者とも連携をとり検診の大切さを伝えます。

議員 山口

校長会議等で子宮頸がんは予防できると伝えていきます。

学校現場での性教育について養護教諭を中心に、福祉部と連携を取りながら進めます。

**議員 瀧川**  
**人材育成に助成をして  
高校生の雇用確保を**

町長 中小企業振興策の  
指針を定め努力します

議員 瀧川

別海町中小企業振興基本条例の基本施策の中で、人材の確保・育成を図ることを挙げています。

町に住む若者に就職の門が広がり、企業に技術を受け継ぐ人材が確保出来ることは、重要と考えますが。

議員 水沼

高校生の就職に関して町としても憂慮しています。

平成二十一年度は、別海高校卒業生で臨時職員として役場に就職を希望した全員を、採用しました。

就業体験が地元企業就職に繋がりを、若者が町内にいることは、企業発展、町の発展に大切なと考えています。

議員 水沼

人材育成には時間と経費がかかり、技術を受け継ぐには年齢の平準が必要です。

人材育成に一定の期間、助成があれば、卒業生を受け入れる余裕も生まれ、新たな雇用にも繋がると考えます。新しいものを取り入れる中で、子どもたちが仕事を見つげる機会も大きく膨らんでいきます。別海で住み続けることができるよう力添えください。

議員 水沼

技術の向上には長い時間が必要だと思っています。

事業者に対する振興策など多面的な取り組み、雇用の受け皿の確保も重要と考えます。現在、中小企業振興策の研究作業を行っており、その提言をもとに指針を定め、人材確保、育成策を含め各種施策を講じる方針となっています。指針に基づき、積極的に努力をしていきます。



高卒者の就職は厳しさを増してきている  
(写真は別高祭)

# 町長の 行政報告

6月定例町議会の第一日目(21日)に町長が行なった行政報告を要約して掲載します。

## 産業の動向



大盛況だったホタテの網焼き  
(ジャンボホタテまつり会場)

推移しています。  
また、ホッカイシマエビ漁は六月十八日から七月二十七日まで行なわれ、制限漁獲量は昨年より三・四割少ない二十四・七トです。

### 観光

#### 盛況だったジャンボホタテまつり

観光客の入り込み数は根室管内で百九十八万二千三百人(▲七・四%)、当町では二十五万九千二百人(▲一一・四%)でした。

第一回ジャンボホタテまつりが、五月二日から三日間、観光協会の主催で行なわれ、一万五千人の人出で賑わいました。

### 酪農

#### 乳価四円二十銭の値下げ

乳量・乳代とも前年度並に推移しています。しかし、乳価の値下げ、生産資材の高止まり、天候しだいでは予断を許さない状況が続いています。

### 水産業

#### ホタテ高値で推移

ホタテの春漁は、六月末で終わります。現

## 学校跡地利用

### 内部で再検討

旧光進小・中学校の跡地利用について再度の公募をしましたが、応募がない状況です。

### 教員住宅の貸付や校舎等の利用について、庁舎内部で再検討を進めていきます。

## 道・中央要請

### 海岸保全

#### 予算化の方向へ

五月二十五・二十六日の二日間、議長・産業常任委員長参加の下に、北海道庁、民主党

本部、農水省、国交省などに要請・政策提案活動を行いました。

当町の約八百戸の酪農家が、六万三千畧の牧草地を守り、四十八

万トの生乳を生産する基盤を維持するため、各事業費、貿易措置への支援などを求めています。

海岸保全対策の要請では、走古丹海岸の調査について検討、野付崎についても平成二十三年度に予算を確保したいとの回答がありました。



今年度、調査の予算がついた走古丹海岸線

## 標津線バス

### 標津線代替輸送バス 市街循環バスへ

現在は、中標津発「ぷらと」経由で、厚床まで運行しています。

七月に運輸局に路線変更について申請し、十月から「ぷらと」、「中央公民館（新別海

病院）、「役場」、「スポーツセンター」（寿町公住周辺）、「別海高校」を経由する「別海市街循環バス」として併用できる路線になる予定です。

## 病院でのお産

### 別海病院

### 初産婦のお産再開

本年の四月から常勤の小児科医一名と、地域医療振興協会傘下の病院から一名の小児科出張医を確保できました。

安全なお産体制が整ったことから、六月から初産婦のお産を再開します。

なお、初産婦のお産

は当面町内と里帰りの方に限定し、様子を見ることがしています。



小児科常勤医師として赴任された野崎博先生

（口蹄疫対策と海兵隊実弾射撃訓練についても報告がありました。一般質問の答弁と重複するため、割愛します。）

## 議会のうごき

# 議会改革・活性化のとりくみ（続報）

前号で議会内の「議会改革・活性化」の取り組みについて特集を組んでお知らせしましたが、その後の経過について、続報します。

### 議会運営の効率化

#### ① 定例会の日程

第一回定例議会を除く他の定例会について、会期をおおむね四日間として、三日目に常任委員会の日程を入れる旨を前号で報告しましたが、六月定例議会から実施しました。

各常任委員会が十分な時間をかけて所管事務調査等をするなど、一定の成果がありました。

反省点として、意見書の提案に関する調査をもう少し早い日程で行いたいということが出されています。

#### ② 反問権の導入

六月定例議会から「反問権」が導入されました。一般質問では行使されませんが、常任委員会の調査の中では一部行使されました。

今後、より質の

高い議論の展開へと効果が期待されています。

### 議会活動の透明化

#### ① 議会報告会の実施

今年度については、町民との意見交換を主目的に行う計画が練られています。

来年度からの本格的開催にむけての第一歩としたいというものです。



今ほど議会改革・活性化が求められているときはない

# 議会のうごき

## 領土問題の形がい化を憂う 北方領土ビザなし訪問に参加して

(5月28日～31日 色丹島)

**平** 成二十二年度第二回四島交流訪問に参加しました。関係職員を含めて六十数人で構成された訪問団でした。

今回の四島交流は色丹島で、四島の中でも景観の素晴らしい島と

言われています。

国後島が男性的であれば、色丹島は女性的な島であると戦前から伝えられています。

**さ** て、今年度の四島交流事業は昨年と大きく変わり、在住ロシア人との対話集会(領

土問題)は、ロシア側の意向で中止となりました。また、領土問題にかかわる集会・交流会は今回もボイコットされました。

さらに、本年度第一回の訪問団が入域する際、ロシア側の書類に日本側の署名を要求し認めさせるなど、領土実効支配の既成事実化を進めているように思われます。

**ビ** ザなし交流は、一九九三年に領土返還運動のサポート的役割で始まりました。

この事業は、「領土問題解決を含む日ソ間の平和条約締結問題が解決されるまでの間、相互理解の増進を図り、もって問題解決に寄与すること」と目的について記されています。

今回の交流行事は、自然環境をテーマとした報告会、ホームビジット、日本人墓地の墓参りなどが主な内容でした。

領土問題対策協会からは、四島在住ロシア人との対話において、



訪問した色丹島の中心市街地の様子

領土問題を取り上げる際には「時」と「場所」を考慮し、相手方の感情にも十分配慮すべきとの説明がありました。外務省は「自由な四島交流そのものが妨げられるのは避けるべきだ」と述べています。

**初** めてのビザなし交流に参加して思うことは、ロシアの四島住民と様々な問題について話し合う機会がなく、目的を失った感が否めないということです。

これからも四島交流事業が進められていく中で、四島住民側に領土問題の存在を深く認識してもらうアプローチが必要であると強く思った次第です。

(松原議員)



イネモシリ地区の日本人墓地を確認するビザなし交流参加者

# 議会のうごき

## 別海町議会アカデミー事業

(6月30日 滝川市)

六月三十日、当町議会独自研修「アカデミー事業」で、滝川市保健福祉部子育て応援課の説明を受けました。

滝川市は、平成十七年から「子育て支援施策」を市の重要政策として「子育て応援課」

を保健福祉部に設置しました。子育てに関する総合的な施策を推進する部署を新設し、「滝川市の未来を担う子ども子育て、子育て環境づくりに関する条例」に基づいて、行政と地域が取り組みを行なっ

ています。少子化が進む中での子育て政策の重要性を再認識しました。次に、難病とたたかう子どもたちに夢のキャンプ場を作ろうとしてできた公益財団法人「そらぶちキッズキャンプ」

の自然体験施設を視察しました。

この施設は、自然体験を通じて病気とたたかう子どもたちと、その家族の「QOL」(生活の質)の向上や「心のケア」に寄与することを目的とするキャンプ施設です。

具体的には病気とたたかう子どもたちとその家族が病気のことを

忘れ、自然の中で安心して安全に楽しく過ごしてもらうため、特別に配慮された自然体験・キャンプ施設です。

この施設は滝川丸加高原に位置し、この高原から全国に医療や福祉の、新しいあり方が発信される施設として注目されています。

(松原議員)

## 町村議会議員研修会

(7月1日 札幌市)

7月1日は、札幌コンベンションセンターを会場に、道内町村議会議員が一堂に会して研修会が開催されました。

「農業ビッグバンの経済学」と題し、経済産業研究所上席研究員・山下一仁氏より、グローバル化と人口減少時代の農政改革について、戸別所得補償政策の問題点などの指摘も入れながら講演されました。

また、「政局展望」と題し、テレビ出演などで活躍されている、白鷗大学法学部教授・福岡政行氏が、「変わる！政治の仕組み」、「公務員ムダ論・不況時代の公務員のあり方」について講演。政権交代後、初の国政選挙・参議院選挙の情勢など全国の状況について熱く論じられました。

福岡氏は政治学を学ぶには、机上の研究よりもフィールドワークを重視し、何事にも現場を観察することが肝心であると主張しています。

今後地方議会人として、基本理念をしっかりと持ちながら、議員の役割、責務を果たしていかなければと考えさせられる研修でした。

(松原議員)



滝川市の子育て支援の説明を真剣に聞く議員一同 (アカデミー事業)



# 常任委員会活動報告

別海町議会に設置されている常任委員会(総務建設・文教厚生・産業)は、本会議閉会中も活動しています。

各委員会の最近の活動や今後の予定をお知らせします。

## 総務建設常任委員会

委員長	池田 幸雄
副委員長	佐藤 初雄
委員	渡邊 政吉
	安田 輝男
	戸田 博義
	丹羽 勝夫

総務建設常任委員会は、財務・税務から演習場、さらに支所の運営など総務関係、道路・住宅、上下水道などの建設関係まで幅広い問題を扱います。

これまで、「国営環境保全型かんがい排水事業」関連の水道施設、肥培施設の現地調査などを実施してきました。

九月定例議会までに予定している所管事務調査等の項目は、

- ①別海駐屯地の現状
- ②自治基本条例の取り組みの状況
- ③町税の収納状況

などです。



例年10月に三常任委員会合同で町内視察を実施している

## 文教厚生常任委員会

委員長	安部 政博
副委員長	松原 政勝
委員	山崎 賢一
	横堀 昭康
	瀧川 榮子
	沓澤 昌廣

後の中春別小学校の視察、建て替えが課題の特別養護老人ホームや老人保健施設などについて現地調査を実施しています。

また、六月十四日には、国民健康保険会計の現状と税率改定についての説明を、さらに陸上競技場管理棟の外壁はく離について経過と対策の説明を受け、討議しました。

今後、九月議会までに、

文教厚生常任委員会は、学校教育・社会教育など教育委員会関係から、保育、高齢者や障がい者福祉、介護、国民健康保険、さらに町立病院・診療所の問題まで、最も幅の広い分野を担当します。

これまで、老朽化した中西別幼稚園や統合

- ①図書館等文化施設の現状
- ②保育園の現状
- ③幼保小中一貫教育

④特別養護老人ホームの現状

などについて、調査する予定です。

## 産業常任委員会

委員長	戸田 憲悦
副委員長	福原 春夫
委員	佐々木 春男
	中村 忠士
	山田 信
	西原 浩

産業常任委員会の所管部署は、産業振興部と農業委員会です。

町民のくらしと経済を支える酪農畜産・水産業など町の基幹産業の振興が主なテーマであるだけに、他の委員会と同様、大変重い課題が課せられています。

委員会としてこれまで、町営育成牧場の冬期舎飼施設(新設)、太陽光発電システム、ふるさと森動物館



今年から外洋クルージングを始めた野付観光船

外部塗装、ふれあいキャンプ広場管理棟外壁改修などについて現地調査を実施しました。

また、五月二十一日、六月十五日と委員会を開催し、口蹄疫対策、第三期中山間直接払交付金事業、中央要請(5/25~27)について説明を受け討議しました。

九月定例議会までに実施を予定している調査項目は、

- ①野付半島の施設整備(浮き桟橋等)および観光船運行の状況
- ②酪農工場および研修牧場の現状などです。

## ～豊かな自然と水産資源を守ることに力を注いで～



生協連合会・コープさっぽろと連携して取り組んでいる植樹運動

野付漁業協同組合女性部 平賀 由喜子

現在、部員百七十四人で活動しています。活動の原点は「暮らし」です。①家族の健康を守り、家族がイキイキと暮らし、改善・節約して家計を守る。②おいしい魚介がたくさんとれるために「お魚殖やす植樹運動」などに取り組む。③地元産の魚介を食べてもらうために―魚食普

及運動として「浜の母さん料理教室」や野付中学校における地域食材を使った調理実習などを実施する。以上三点を柱として、漁協とともに積極的に活動しています。町行政にお願いしたいことは、豊かな自然と水産資源を守っていくことに力を注いでいただきたいと思えます。別海町には沢山の美しい自然が残っており、別海町の自慢の一つと思っています。豊かな自然を守ることが、酪農業・漁業の発展にもつながっていくのではないのでしょうか。また、水産資源の維持増大に向けて力添えをいただき、家族が笑顔で暮らせる安定した漁業経営ができるようになることを願っています。

※「輝け学校」は前号で終了。今号から4回シリーズで「協働のまちづくりへ」と題し、町民団体の活動紹介と町政・議会に対する生の声を掲載します。

## 編集後記



親が子を命がけで守る姿には誰しもが感動するものです。六月十三日、二〇〇三年五月に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」が、四年の帰還予定が三年遅れでようやく地球に帰ってきました。飛行中帰還できないトラブルが相次ぎ、その都度チームの知恵で復活をした姿に多くのファンができました。大気圏に突入し、自ら燃えながらカプセルを分離する報道を目にし、命がけで子を守る親を見るようで感激しました。開発には町工場の職人が携わったそうです。最近暗い出来事ばかりのご時世で、久しぶりに日本の技術力を世界に見せつけた、スカッとしたニュースでした。(山田委員)

低温続きの春先でしたが、ここにきて気温が高めで経過しています。家庭菜園をやっている方からは、「いや〜良かった。順調に伸びてきている」と安堵の声、酪農家の皆さんからも牧草の生長を喜ぶ声が聞こえます。自分は、家庭菜園もやっていないし、酪農家でもないけれど、そういう声を聞いて、ほっとしています。

さて、皆さんに議会だよりの五十四号をお届けすることができましたが、私達の任期もあと八ヶ月余り。このあとの、五十五号(十一月)・五十六号(二月)・五十七号(四月)の発行が、任期内での仕事となります。広報の仕事は、「これでいい」ということがありません。今号よりも次号、さらに次号…、より良い紙面を目指して最後までがんばるつもりです。(中村委員)

携帯電話は車を止めて！シートベルト着用・スピードダウン